

主な理由

お客様がDell PowerMaxストレージ向けDell Data Protectionを選ぶ理由

Dell PowerProtect Data ManagerとPowerProtect Data Domainは、PowerMaxのサイバー レジリエンスをさらに高いレベルに引き上げます。

1 | 不測の事態が起きても復旧できるという自信を持てる。

リーディング カンパニーのイノベーションと実績あるテクノロジーを利用すれば、問題は起きにくくなります。[PowerMax](#)のミッションクリティカルなストレージと[Dell Data Protection](#)はどちらも、世界中のお客様から選ばれ続ける製品を提供しています。

PowerMaxはハイエンド ストレージ分野をリードする製品であり、業界最高のセキュリティ¹とエネルギー効率²を誇るミッションクリティカルなストレージがそろっています。[PowerProtect Data Domain](#)アプライアンスは、他のどのソリューションよりも多くのお客様から信頼いただいており、専用バックアップ アプライアンスとして常にNo.1の評価³を得ています。また、[PowerProtect Data Manager](#)は、最新のマルチクラウド ワークロードに適した次世代のデータ保護ソフトウェアであり、その革新性、拡張性、運用のシンプルさにより、Rubrik、Cohesity、Veeam、Commvault、Veritasといった競合製品を抑えて、多くのIT導入決定者から支持されています⁴。

2 | パフォーマンスと効率性の優位性を得る。

PowerProtect Data Domain アプライアンスは、データ保護に特化した設計となっており、パフォーマンス、効率性、セキュリティ上のメリットをもたらします。その結果、データ保護運用をシンプルにし、PowerMax ストレージ環境のリスクとコストを削減できます。

最新世代の Data Domain は、以前のモデルと比較して、バックアップを最大 38%⁷、リストアを最大 44%⁷、レプリケーションを最大 58%⁷ 高速化します。さらに、効率性にも優れており、通常は最大 65:1 のデータ削減を実現し⁸、必要な電力を最大 11%⁹、フロア面積を 50%¹⁰ 削減します。これにより、保護にかかるコストを削減できます。

同時に、PowerMax は画期的な効率性をもたらします。以前のモデルと比較して、ワットあたりの IOPS が最大 2.8 倍¹¹に増加、温室効果ガスを最大 82%¹²削減します。パフォーマンスを重視した設計で、2 倍の高速化¹³とレスポンス タイムの 50%短縮¹⁴を実現します。

3 | Storage Direct保護でデータ保護を次のレベルに引き上げる。

PowerProtect Data DomainやPowerProtect Data ManagerとPowerMaxストレージのネイティブ統合により、バックアップ/リカバリーのワークフローと運用を大幅にシンプル化できます。

データ保護運用が高速化、効率化され、アプリケーションやデータベースにはほとんどまたはまったく影響を与えません。アプリケーション所有者は、PowerProtect Data Managerで複数のPowerMaxアレイのバックアップとリストアを一元的に管理、オーケストレーションできます。また、不変性やサイバー ヴォルトの統合を通じてデータの整合性が保護されます。さらに、PowerProtect Data Domainのレプリケーションとクラウド階層化に対応するマルチクラウド サポートを利用できます。

Storage Direct 保護は、バックアップとリストアのパフォーマンス レベルも向上させます。PowerProtect Data Domain を使用すると、PowerMax を使用する場合よりもバックアップ ウィンドウを短縮し、リカバリーを高速化できます。元の PowerMax または代替の PowerMax への単一バックアップでは最大 46 TB/時⁵、単一リストアでは最大 21 TB/時⁶のスピードを実現し、ホスト アプリケーションに対するパフォーマンス インパクトはありません。

PowerProtect Data DomainとPowerMaxのパフォーマンス、効率性、セキュリティに関する各種イノベーションというこの強力な組み合わせにより、本番環境に対する影響を最小限に抑え、コストを削減しながら、サービスレベル アグリーメント(SLA)を従来よりも簡単に満たすことができます。

4 | データがどこにあっても、包括的なサイバー レジリエンスを実現。

Dell Data Protection で PowerMax ストレージ環境を保護すると、多層にわたるゼロトラスト セキュリティを備えているため、サイバーレジリエンスの成熟度向上に役立ちます。Data Invulnerability Architecture (DIA)、ハードウェア ルート オブトラスト、セキュア ブート、暗号化、保持ロック、ロール ベースのアクセス制御、多要素認証により、データの整合性と復旧可能性を確保できます。

また、PowerProtect Data Domain アプライアンスを隔離されたサイバー リカバリー ヴォールト内に導入して、独立した管理制御でセキュリティを強化できます。2,100 社を超える PowerProtect Cyber Recovery のお客様が、自社のサイバー リカバリー ヴォールト内で PowerProtect アプライアンスを使用しており、その数は増え続けています¹⁵。CyberSense を使用した AI ベースの機械学習と分析を通じて得たインテリジェンスは、復旧可能性の確保に役立ちます。

さらに、当社は、ランサムウェアやサイバー イベントからお客様のデータを保護するサイバー レジリエンス ソリューションの能力に自信を持っており、[保証](#)も提供しています¹⁶。

5 | マルチクラウド環境全体でデータが保護されているという安心感が得られる。

オンプレミスまたはソフトウェアデファインドの保護ストレージを使用して、PowerProtect Data Domainを使用して、または[Dell APEX Protection Storage](#)を使用してマルチクラウド全体で、データを大規模に保護、管理、復旧できます。複数のクラウドにわたってデータを保持し、さまざまな場所にまたがる汎用性とレジリエンスに優れたリカバリー戦略に対応できます。バックアップをオンプレミスに保持して迅速にアクセスできるようにするか、リモート サイト バックアップを確立して冗長性を高めるか、パブリッククラウド ストレージの俊敏性を活用してコスト効率と拡張性に優れたソリューションを実現するかを選択できます。PowerProtect Data Domainでは、Cloud Tierを使用し、重複除外済みのデータをサポートされる任意のオブジェクトストレージ プロバイダーに階層化し、長期保存することができます。また、中断が発生した場合には、フェールオーバーでは3回、フェールバックでは2回クリックするだけで、クラウド データをすばやく復旧できます¹⁷。その際、直接的なクラウド内アクセスにより、迅速かつ効率的にデータを取得できます。

¹Dell PowerMaxのサイバーセキュリティ機能と、オープン システムおよびメインフレーム ストレージをサポートする競合他社のメインストリーム アレイのサイバーセキュリティ機能と比較した Dell の社内分析（2024年4月）に基づきます。

²Dell PowerMaxの電力消費量に影響を与える、公開されている製品仕様および機能と、8PBeで動作するオープン システムおよびメインフレーム ストレージをサポートする競合他社のメインストリーム アレイと比較した Dell の分析（2024年6月）に基づきます。

³IDC、『Purpose-Built Backup Appliance (PBBA) Tracker』（2023年第4四半期）での収益に基づきます。

⁴2024年度下半期にDellの委託を受けて第三者機関が収集した、競合製品に関するダブルブラインドのベンチマークであるネット プロモーター スコア(NPS)のデータを使用して世界上位5社のデータ保護ソフトウェア プロバイダーと比較したデル・テクノロジーズの分析（2024年1月）に基づきます。

⁵単一ストレージ グループのバックアップにEpic GeneratorIOを使用した、PowerMax 2500とPowerProtect DD9900のDellの社内テスト（2024年3月）に基づきます。実際のパフォーマンスは異なる場合があります。

⁶単一ストレージ グループのリストアにEpic GeneratorIOを使用した、PowerMax 2500とPowerProtect DD9900に関するDellの社内テスト（2024年3月）に基づきます。実際のパフォーマンスは異なる場合があります。

⁷Dell PowerProtect DD9910アプライアンスとPowerProtect DD9900アプライアンスを比較したDellの社内テスト（2024年2月）に基づきます。実際の結果は異なる場合があります。

⁸Dellの社内テストとフィールド テレメトリ データ（2024年2月）に基づきます。実際の結果は異なる場合があります。

⁹Dell PowerProtect DD9910アプライアンスとPowerProtect DD9900アプライアンスを比較したDellの分析に基づきます（どちらも最大限の容量1.5PBUで構成）。拡張シエル使用時のアプライアンスの電力消費量や熱定格と、kWhあたりの平均電気料金0.168ドルに基づいて計算された節約額（米ドル）。見積もりのみを目的とした参考値です。実際の金額は異なります。

¹⁰オプションの奥行のあるラックを使用したDell PowerProtect DD9910アプライアンスとPowerProtect DD9900アプライアンスを比較したDellの社内テスト（2024年3月）に基づきます。

¹¹8Kランダム書き込みワークロードを使用したPowerMax 2500とPowerMax 2000のワットあたりのIOPSを比較したDellの社内テスト（2023年8月）に基づきます。

¹²PowerMax 2500を8PBe (5kW)で稼働した場合と6台のPowerMax 2000を8PBe (27.5kW)で稼働した場合を比較して5年間の二酸化炭素排出量の合計を調べたDellの社内テスト（2023年7月）に基づきます。

¹³シーケンシャル読み取りヒット(128,000)の1秒あたりのGBと、FCポートあたりのIOPSのベンチマーク（単一アレイ内）を使用し、PowerMax 8500とPowerMaxを比較したDellの社内テスト（2023年4月）に基づきます。

¹⁴OLTTPベンチマークを使用してPowerMax 2500とPowerMax 2000を比較した、Dellの社内テスト（2023年4月）に基づきます。実際のレスポンスタイムは異なる場合があります。

¹⁵デル・テクノロジーズの分析（2024年2月）に基づきます。

¹⁶Dell Future-Proof Program, Cyber Recovery Guarantee

¹⁷Dellの社内テスト（2024年3月）に基づきます。



[PowerProtectとPowerMaxの詳細を見る](#)



[デル・テクノロジーズのエキスペートへのお問い合わせはこちら](#)